

洞薬会10月度学術講演会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれまして益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて洞薬会学術講演会を開催いたします。
万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2018年10月18日（木） 18：45～20：30

場 所：ステーションホテル小倉 5階 飛翔の間

福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1番1号 TEL 093-541-7111

司 会 北九州総合病院 薬剤部 今村 陽子 先生

製品解説（18：45～19：00）

『ニュープロパッチの情報提供』

大塚製薬（株） 福岡支店 北九州出張所 塚本 早智子 先生

座 長 小倉記念病院 薬剤部 町田 聖治 先生

特別講演Ⅰ（19：00～19：30）

『パーキンソン病治療における経皮吸収型製剤の適正使用

— 薬剤師の役割 —

福岡大学 薬学部 助教 安高 勇氣 先生

特別講演Ⅱ（19：30～20：30）

『 パーキンソン病の診断と治療 』

産業医科大学 認知症センター 助教

武井 崇展 先生

【講演要旨】特別講演Ⅰ

経皮吸収型製剤は消化管を介さず吸収でき、長時間一定の効果が得られるほか、嚥下が困難な患者にも投与できるなど多くのメリットがあります。一方、皮膚症状を呈することがあり、その対策が肝要です。本講演では、福岡大学病院で得られた実臨床データをもとに、ロチゴチン貼付剤を継続使用するための留意点と皮膚症状対策についてご紹介します。

【講演要旨】特別講演Ⅱ

パーキンソン病は運動緩慢、振戦、筋強剛といった運動症状だけでなく、自律神経症状や認知症、睡眠障害など様々な非運動症状も高頻度に合併する全身疾患である。本邦での有病率は100～180/10万人とされているが、超高齢化社会に突入した現在、さらに患者が増えることが予想されており、より身近に存在する疾患となってきた。本講演では2018年に改訂されたパーキンソン病診療ガイドラインを基に、その診断や治療について概説します。

共催 洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）福岡県病院薬剤師会 大塚製薬株式会社

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修（V-2）1単位（予定）※日本薬剤師会研修センター研修1単位

※非会員の方は参加費1000円を徴収させていただきます。（学生、研修生は除く）